



ひらかわ 市議会だより

平成23年
3月定例会

第22号

平成23年6月15日発行



目次

◆平成23年第1回（3月）定例会（概要）	2
（審議した議案）	3～4
◆議決一覧表	5～6
◆予算特別委員会（平成23年度予算審査）	7～9
◆市政に関する一般質問より（11議員）	10～16
◆教育民生常任委員会所管事務調査	17
◆会派の動き・議会の動き・編集室から	18

桜満開の猿賀公園

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL (0172)44-1111 FAX (0172)44-6988

平川市ホームページ <http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

第1回(3月) 定例会 予算特別委員会 設置

東日本大震災の犠牲者の御冥福と、震災からの復興を心からお祈りいたします。



初日に、会議録署名議員の指名を行い、会期を3月22日までの16日間と定め、諸報告が行われました。

大川市長のあいさつと提案理由の総括説明の後、平成23年度各会計予算案を審査すること

平成23年第1回平川市議会定例会は、3月7日から22日までの16日間開催されました。

3月11日、一般質問1日目の会議中に、東日本大震災が起こり、激しい揺れの後停電し、続行不可能となりました。議員、理事者、傍聴者は、暗闇の中落ち着いて避難し、揺れがおさまった後に議長が延会を宣言しました。以降の日程は、計画停電の予定があったため開議時間を変更し、日程表のとおり進められました。

本定例会では、平成23年度予算案を審査するため予算特別委員会が設置され、一般会計を含む24件の予算案が原案可決となりました。

初日に提出された議員提出議案2件は原案可決、人事案件2件は原案のとおり同意されました。

最終日には、追加提案された2件を含め条例廃止案1件、条例改正案4件、条例案3件、計画の策定や市道路の認定など5件、一般会計を含む各会計補正予算案13件、請願の提出について1件の、合わせて29件が原案可決となりました。

を開催し、5日目と休会をはさんだ8日目には11人の議員が、理事者側に対して一般質問を行いました。

9日目から11日目までの3日間は予算特別委員会を開催し、新年度予算の審査を行いました。

最終日には、各委員会委員長が報告を行った後、平成23年度一般会計を含む各会計予算案24件と、平成22年度一般会計補正予算案、国民健康保険特別会計補正予算案、老人保健特別会計補正予算案、介護保険特別会計補正予算案、後期高齢者医療特別会計補正予算案、国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案、学校給食センター特別会計補正予算案、下水道事業会計補正予算案、大字大光寺財産区を含む5件の財産区補正予算案、条例改正案等の議案は、原案どおり可決されました。

請願1件の採択を受けて追加提案された意見書についても原案可決となりました。



【会期日程】													
3月7日(月)	3月8日(火)	3月9日(水)	3月10日(木)	3月11日(金)	3月12日(土)	3月13日(日)	3月14日(月)	3月15日(火)	3月16日(水)	3月17日(木)	3月18日(金)	3月19日(土)	3月20日(日)
本会議	議案熟考のため休会	議事整理のため休会	常任委員会	一般質問	休会	休会	一般質問	予算特別委員会	予算特別委員会	予算特別委員会	議事整理のため休会	休会	祝日(休会)

審議した議案

人事案件

平川市教育委員会委員に
工藤 甚三氏
を任命

平川市教育委員会委員樋口光郎氏の任期が、平成23年3月7日をもって満了したので、後任に工藤甚三氏を選任することに同意しました。

住所 平川市猿賀石林162番地1
氏名 工藤 甚三
生年月日 昭和22年10月2日生

人権擁護委員に
齋藤 千恵子氏
を再任

人権擁護委員齋藤千恵子氏の任期が、平成23年6月30日をもって満了するので、再任することに同意しました。

住所 平川市尾崎浅井257番地1
氏名 齋藤 千恵子
生年月日 昭和26年11月26日生

条例案

●平川市公衆浴場条例案
（平成23年4月1日から施行）

平川市公衆浴場の構成施設を改め、指定管理者による管理を行わせることができるようにする。

●平川市碓ヶ関温泉会館条例案（平成23年4月1日から施行）

管理及び運営に関する事項を一本化し、指定管理者による管理ができるようにする。

●平川市私債権の管理に関する条例案（平成23年4月1日から施行）

私債権の管理の適正化を図るため、事務処理について必要な事項を定める。

条例改正案

●平川市特別会計条例の一部を改正する条例案（平成23年4月1日施行）

老人保健特別会計の経過措置終了に伴い、同特別会計を廃止する。

●平川市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を

改正する条例案（平成23年8月1日施行）

ひとり親家庭等の18歳未満の児童の医療費について、現物給付を行うため医療機関への医療費の支払いに関する規定を定める。

●平川市農村公園等条例の一部を改正する条例案（公布の日から施行）

岩瀬公園を廃止するため、条例から削除する。

●平川市おのえスポーツセンター条例の一部を改正する条例案（平成23年4月1日施行）

プール及びイベント広場を廃止するため。

廃止条例案

●平川市林業休養センター条例を廃止する条例案（公布の日から施行）

施設の利用者数減少等により、休業していた平川林業休養センターを廃止する。

その他

●平川市過疎地域自立促進計画の策定について

法改正により、施行期間が平成22年度から平成27年度まで6年間延長したことにより、計画を新たに策定するもの。

●市道路線の認定について

住宅団地開発に伴い、新館藤山16号線を新たに認定するため。起点 新館藤山77番3、終点 新館藤山62番2、実延長118・1メートル、幅員6・0メートル。

●市有財産の無償貸付について

平川市大坊のあすなろ理研株式会社と平川市との共同研究により、ひらかわソバもやし生産施設として使用するため、小国小・中学校の校舎1階部分、床面積534・22平方メートルを1年間無償貸付する。

●財産区有財産の無償譲渡について

県営内山地区農道整備事業に伴い、広船財産区有財産の土地を農道用地として市へ無償譲渡する。平川市広船嘉瀬沢51

番48、51番54、51番126、51番154、及び広船広沢203番2、388番1のうちで、原野及び山林。総地積3172・88平方メートル、総評価額4万4362円。

●平川市古懸コミュニティ浴場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について

管理の指定先を古懸町内会とし、管理の期間を平成23年4月1日から平成26年3月31日までとする。

請願書

（採択）

社会資本整備を国の責任で実施する東北地方整備局青森河川国道事務所の存続を求める請願
請願者
国土交通省全建設労働組合東北地方本部青森支部

紹介議員（記名順）
佐々木利正、木村兼由

補正予算関係

一般会計補正予算

181億2千564万円に

一般会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ12億4247万4000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ181億2564万円とする。

質疑

問 食糧自給率向上産地再生緊急対策事業（津軽みらい農協カントリーエレベーター建設）補助金の総事業は。

答 市補助と農協単独事業を合わせ、27億9351万円である。

問 子ども手当4462万9000円、保育所運営費3000万円減額の理由は。

答 子ども手当支給が中学生までに拡大されたことにより、対象人数把握の際1学年分を誤って見



国民健康保険特別会計
予算の総額に、歳入歳出それぞれ8885万7000円を減額し、総額

積み増したこと等が原因である。また、保育所運営費は、人事院勧告に基づく給与法の改正により1〜2%減額になった積算である。

を41億7410万7000円とする。

質疑

問 国民健康保険税の滞納額はどのくらいか。

答 平成22年度の国保税は平成21年度の所得に基づいて算定されるが、1億4200万円の減収（滞納額）であり、82・6%の収納率である。

老人保健特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ37万2000円を減額し、総額を176万6000円とする。

介護保険特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億7601万7000円を追加し、総額を30億9465万6000円とする。

質疑

問 平成22年度当初で計上されている、地域密着型2施設の整備が繰り越すことになった理由は。

答 施設整備交付金について、平成23年度中に処理することで県と協議済のため繰り越すこととなった。施設はそれぞれ9月と11月の開設を予定している。

後期高齢者医療特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1911万8000円を減額し、総額を2億3060万7000円とする。

質疑

問 後期高齢者医療の動向について。

答 最短で平成26年3月より国保加入の75歳以上について、都道府県単位での財政運用制度となることを想定している。また、後期高齢者の非保険者数は平成23年2月1日現在で5037人である。

国民健康保険診療施設事業診療所特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ71万1000円を減額し、総額を3億6136万1000円と

する。

質疑

問 葛川診療所の収入内訳は。

答 診療収入は、2892万7000円、分担金及び負担金は520万円である。

学校給食センター特別会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ537万円を減額し、総額を3億7277万8000円とする。

質疑

問 給食費を歳出に当てる際にルールがあるのか。

答 給食費は全額賄材材料費とし、人件費等については一般会計からの繰り入れで対応している。

下水道事業会計

・資本的収入及び支出

収入 公共下水道事業の企業債と各事業の一般会計出資金繰出し基準を精査し1億686万9000円減額する。

支出 公共下水道事業建設改良費と岩木川流域下水道関連市負担金の合わせて200万円減額する。

・収益的収入及び支出

収入 一般会計補助金の繰出し基準精査等により、各事業合わせて1億215万2000円増額。

支出 下水道事業推進奨励金等合わせて8635万円増額。

質疑

問 収益的収支の各支出の特別損失とは何か。

答 下水道4事業の中の原価償却費について、過年度に過少処分されたものを今年度において修正経理するものである。

財産区一般会計

大字大光寺、新館、原田、岩館、碓ヶ関財産区一般会計（原案可決）



平成23年第1回定例会

議 決 一 覧 表

議案 番号	議 案 名	本会議		常任委員会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
【人事案件】						
2	平川市教育委員会委員の任命について	原案同意	全会一致	—	—	—
3	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致	—	—	—
【条例廃止案・条例改正案・条例案】						
4	平川市林業休養センター条例を廃止する条例案	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
5	平川市特別会計条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
6	平川市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
7	平川市農村公園等条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
8	平川市公衆浴場条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
9	平川市碓ヶ関温泉会館条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
10	平川市私債権の管理に関する条例案	原案可決	起立多数	総務企画	原案可決	全会一致
【その他】						
11	平川市過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
12	市道路線の認定について	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
13	市有財産の無償貸付けについて	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
14	財産区有財産の無償譲渡について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
15	平川市古懸コミュニティ浴場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
【予算案】						
16	平成23年度平川市一般会計予算案	原案可決	起立多数	予算特別	原案可決	起立多数
17	平成23年度平川市国民健康保険特別会計予算案	原案可決	起立多数	予算特別	原案可決	起立多数
18	平成23年度平川市介護保険特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
19	平成23年度平川市後期高齢者医療特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
20	平成23年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
21	平成23年度平川市学校給食センター特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
22	平成23年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
23	平成23年度平川市簡易水道特別会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
24	平成23年度平川市水道事業会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
25	平成23年度平川市下水道事業会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
26	平成23年度平川市広船財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
27	平成23年度平川市小和森財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
28	平成23年度平川市荒田財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
29	平成23年度平川市大坊財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
30	平成23年度平川市柏木町財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
31	平成23年度平川市大字大光寺財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致

議案 番号	議 案 名	本会議		常任委員会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
32	平成23年度平川市平田森財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
33	平成23年度平川市新尾崎財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
34	平成23年度平川市新館財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
35	平成23年度平川市沖館財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
36	平成23年度平川市葛川財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
37	平成23年度平川市吹上・高畑財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
38	平成23年度平川市原田財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
39	平成23年度平川市碓ヶ関財産区一般会計予算案	原案可決	全会一致	予算特別	原案可決	全会一致
【補正予算案】						
40	平成22年度平川市一般会計補正予算案（第5号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
41	平成22年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
42	平成22年度平川市老人保健特別会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
43	平成22年度平川市介護保険特別会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
44	平成22年度平川市後期高齢者医療特別会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
45	平成22年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
46	平成22年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
47	平成22年度平川市下水道事業会計補正予算案（第3号）	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
48	平成22年度平川市大字大光寺財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
49	平成22年度平川市新館財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
50	平成22年度平川市原田財産区一般会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
51	平成22年度平川市岩館財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
52	平成22年度平川市碓ヶ関財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
53	平川市おのえスポーツセンター条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	—	—	—
【請 願】						
1	社会資本整備を国の責任で実施する東北地方整備局青森河川国道事務所の存続を求める請願	原案可決	全会一致	建設経済	採 択	全会一致
【議員提出議案】						
1	平川市議会会議規則の一部を改正する規則案	原案可決	全会一致	—	—	—
2	市長が専決処分することができる事項の指定について	原案可決	全会一致	—	—	—
3	平川市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	—	—	—
4	社会資本整備を国の責任で実施する東北地方整備局青森河川国道事務所の存続を求める意見書（案）の提出について	原案可決	全会一致	—	—	—

議会を傍聴してみませんか

定例会は 3 月、6 月、9 月、12 月に行われます

詳しくは議会事務局まで 電話（0172）44－1111（内線 1511）

予算特別委員会

平成23年度一般会計予算

総額160億1千万円に

(対前年度比3.6%増)



古川 昭二 委員長

歳入全般

問 地方交付税の2億7000万円ほど増額の理由は？

答 国の地方財政計画では2.8%の伸びであり、制度変更の部分等可能な限り試算した結果である。

問 市たばこ税増収の根拠は？

答 禁煙の消費減少率が8%、値上げによる特別減少率を20%で計算しているがたばこ税の値上げによってその分がカバーされると見込んでいる。

問 基金繰入金の増額の理由は？

答 財政調整基金繰入金、各事業の一般財源分として1億6300万円。市債管理基金繰入金は、市債の繰上償還として6億5200万円を計

一般会計

予算特別委員会は、3月15日・16日・17日の3日間、一般会計を始め特別会計、企業会計全24会計の平成23年度予算案について、審議しました。
委員長には古川昭二委員、副委員長には工藤竹雄委員が選任されました。
各委員から活発な質疑が行われた結果、一般会計と国民健康保険・介護保険・後期高齢者特別会計は賛成多数で、その他会計予算案は全会一致で可決されました。
(※質疑内容は要約し、抜粋して掲載しています。)

上している。

問 財産収入の光回線賃料とは？

答 光回線が東部地区と碓氷関地域に敷設され、インターネットサービスが受けられるようになり、東部地区はさらにTVのデジタル化のサービスも同時に受けられるようになってきている。その光回線を市が補助事業で整備したが、NTTに貸して、その貸付料が入ってくるものである。

歳出全般

総務費

問 旧第二体育館の跡地の利用は？

答 冬のねぶたまつりの主会場となつていてことから、簡易舗装の予算を計上したが、将来的には処分したい考えである。

問 納税貯蓄組合への補助率を上げる考えは？

答 納税貯蓄組合数の減少があるが、総合的に判断していきたい。

民生費

問 生活保護は増えるのか？

答 増加傾向にある。世帯数もそうだが特に医療扶助の伸びがある。

問 子ども手当の対象者数の見込みは？

答 4030人を見込み、市の負担は6860万円である。

衛生費

問 各がん検診の受診率の見込みは？

答 胃がん検診25.6%、大腸がん検診22.3%、子宮がん検診17.4%、乳がん検診21.0%と見込んでいるが、さらに増や

労働費

問 ふるさと雇用再生特別交付金事業と緊急雇用創出事業は？

答 ふるさと雇用再生特別交付金事業は、地域に雇用をつくるために、1年以上の就業を目的として、それ以降も引き続きその事業所で雇用していただくことを目的に、平成21年度から3か年、国が100%補助する事業で、23年度は11人の雇用を見込んでいる。

緊急雇用創出事業は、半年か1年未満のつなぎ雇用として、同じく国が100%補助する事業で、23年度は73人の短期雇用を見込んでいる。

農林水産業費

問 農産物直売所増築事業補助金は？

答 JA津軽みらい尾上農産物直売所の増築工事、売場面積と駐車場の拡張するもので、事業費の半額を市が補助するという内容である。



工藤 竹雄 副委員長

排水施設整備を予定している。

商工観光費

問 盛美園100周年記念事業補助金は？

答 平成23年度で盛美園が100周年を迎えることから、記念事業を行うというところで、市から150万円を限度に半額助成するものである。

土木費

問 側溝・融雪溝で主なところは？

答 側溝整備では、尾崎木戸口線、原田大坊線、館山前田4号線、大坊石郷線が1000万円以上の整備費の路線で、融雪溝は大坊である。

消防費

問 消防広域化のあり方と弘前地区消防事務組合負担金算出方法は？

答 消防力の強化を目的に国が概ね30万人規模を想定した広域化を推進し

教育費

問 碓ヶ関小学校改修工事は？

答 体育館の屋根と照明(LEDに替える)である。北側の器具室の屋根は、補修しても限界があるので、抜本的な対策を考えていきたい。

問 スポーツセンター費の駐車場等整備工事は？

答 プールの部分は高さを下げて、イベント広場は野球のサブグラウンド的な活用も考えて、総合的に駐車場の整備をしたい。

問 スポーツ大会派遣補助金をもう少し多くできないか？

答 社会教育の大人のスポーツ大会と学校教育の小中学生の大会とは区別しているのが一般的な考え方である。大人の場合は、小中学校のような対応が予算的にできない。

反対討論

齋藤 律子 議員

集中改革プランや行政改革大綱を掲げ、厳しいコスト意識や更なる行革の推進を要求し、一般財源へ1/3で前年度以下になるよう予算要求見積もりを指示することでも、市民向けの予算も圧縮されたものが多くなっていること等から反対する。

賛成討論

對馬 實 議員

市の経済活性化と長期総合プランを推進するための創意工夫があり、農業所得向上や地元経済を支えるための対策が講じられ、市民生活の安定、福祉施策の充実、雇用・経済対策の点から適切な予算であるので賛成する。

特別会計

国民健康保険特別会計

問 保険税の徴収率の見込みは？

答 22年度が確定するのは、まだこれからなので、21年度の徴収率(91.77%)で見込んでいます。

問 保険税の課税限度額引き上げの影響額は？

答 一般分合計では、77万6000円を、高齢者支援金分では、37万1000円を見込んでいます。

反対討論

齋藤 律子 議員

課税限度額の引き上げが盛り込まれており、合計73万円が77万円となることから反対する。

賛成討論

佐々木利正 議員

安心して医療を受けることができ、保険事業が健全に運営されることを考慮した予算案となっていることから賛成する。

介護保険特別会計

問 滞納繰越分の普通徴収保険料5万円計上の理由は？

答 20年度と21年度を合わせて約900万円あり、徴収強化を進めるものの、どの程度見込めるかわからないことから5万円としている。

国民健康保険診療施設事業診療所特別会計

問 公用車購入予定があるのか？

答 平成8年購入の患者輸送用のバスを更新するため計上している。

問 平川診療所の診療報酬減の理由は？

答 22年度は実績プラス努力目標で計上したが、23年度は実績に近い数字で計上したためである。

学校給食センター特別会計

問 給食収入減の理由は？

予算特別委員会

答 給食日数はほぼ去年並みであるが、児童・生徒が約80人減少したためである。

尾上地区住宅団地温泉事業特別会計

問 猿賀南田温泉の福祉センター供給使用料は？

答 一般家庭が毎分4リットルで5090円の使用料で、福祉センターは20倍の毎分80リットルのため10万1800円の使用料を納付している。

問 温泉供給の使用をやめている世帯は？

答 事情があつて休止している世帯は、南田温泉が2世帯、みなみの温泉が2世帯です。

事業会計道

問 給水の普及率は？

答 21年度決算では88.7%であったが、88.9%を見込んでいる。

問 企業債償還金の見通しは？

答 企業債は平成33年度でゼロになる予定です。

平成23年度 一般会計当初予算

【歳入】

(単位：千円、%)

	本年度予算額	構成比	前年度予算額	比 較	
市税	2,186,018	13.7	2,227,870	△ 41,852	△ 1.9
地方譲与税	210,000	1.3	215,000	△ 5,000	△ 2.3
利子割交付金	5,000	0.0	8,000	△ 3,000	△ 37.5
配当割交付金	1,100	0.0	300	800	266.7
株式等譲渡所得割交付金	200	0.0	200	0	0.0
地方消費税交付金	282,000	1.8	243,000	39,000	16.0
ゴルフ場利用税交付金	13,000	0.1	13,000	0	0.0
自動車取得税交付金	50,000	0.3	48,000	2,000	4.2
地方特例交付金	51,000	0.3	45,000	6,000	13.3
地方交付税	8,070,000	50.4	7,800,000	270,000	3.5
交通安全対策特別交付金	5,500	0.0	5,500	0	0.0
分担金及び負担金	189,528	1.2	209,028	△ 19,500	△ 9.3
使用料及び手数料	116,326	0.7	125,980	△ 9,654	△ 7.7
国庫支出金	1,952,702	12.2	1,761,621	191,081	10.8
県支出金	1,171,477	7.3	1,348,081	△ 176,604	△ 13.1
財産収入	39,692	0.3	35,042	4,650	13.3
寄付金	2	0.0	2	0	0.0
繰入金	815,512	5.1	317,512	498,000	156.8
繰越金	1	0.0	1	0	0.0
諸収入	452,042	2.8	425,163	26,879	6.3
市債	398,900	2.5	631,700	△ 232,800	△ 36.9
歳入合計	16,010,000	100.0	15,460,000	550,000	3.6

【歳出】

(単位：千円、%)

	本年度予算額	構成比	前年度予算額	比 較	
議会費	216,326	1.4	175,490	40,836	23.3
総務費	1,784,564	11.1	2,000,565	△ 216,001	△ 10.8
民生費	5,146,385	32.1	5,032,211	114,174	2.3
衛生費	1,007,374	6.3	942,753	64,621	6.9
労働費	134,287	0.8	141,262	△ 6,975	△ 4.9
農林水産業費	755,452	4.7	783,998	△ 28,546	△ 3.6
商工費	519,294	3.2	452,775	66,519	14.7
土木費	1,487,526	9.3	1,277,799	209,727	16.4
消防費	734,541	4.6	688,414	46,127	6.7
教育費	1,262,732	7.9	1,192,542	70,190	5.9
災害復旧費	30,182	0.2	26,903	3,279	12.2
公債費	2,871,337	17.9	2,685,288	186,049	6.9
予備費	60,000	0.4	60,000	0	0.0
歳出合計	16,010,000	100.0	15,460,000	550,000	3.6

※構成比は、四捨五入のため積算が一致しない場合がある。

平成23年度 各種会計当初予算

(単位：千円、%)

会 計 名			予 算 額	増 減 額	増減率
特別会計	国民健康保険		4,345,590	139,263	3.3%
	介護保険		3,019,171	162,273	5.7%
	後期高齢者医療		247,701	△ 2,024	△ 0.8%
	診療所		374,245	△ 816	△ 0.2%
	学校給食センター		376,596	△ 10,292	△ 2.7%
	尾上地区住宅団地温泉事業		10,645	21	0.2%
	簡易水道		20,760	919	4.6%
企業会計	水道事業	事業収益	522,765	△ 7,093	△ 1.3%
		事業費用	474,343	△ 18,054	△ 3.7%
		資本的収入	26,404	189	0.7%
		資本的支出	303,600	△ 9,959	△ 3.2%
	下水道事業	事業収益	798,633	△ 42,318	△ 5.0%
		事業費用	924,066	△ 29,804	△ 3.1%
		資本的収入	498,406	△ 5,028	△ 1.0%
		資本的支出	725,782	△ 22,859	△ 3.1%

(増減は対前年度当初予算比です。)

市政に関する一般質問より

● 3月定例会では、11日（金）と14日（月）の2日間にわたり、11人の議員により一般質問が行われました。
● ここでは質問及び答弁の内容を要約して掲載しております。

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問を行い、定例会ごとに行われます。
議案の質疑とは別に通告が必要です。当市は、通告の受付順に一般質問を行っています。



平成23年第1回（3月）定例会 一般質問傍聴席

1. 古川 敏夫 議員

〔一括質問方式〕

- 子ども手当について
- イルミネーション設置事業について
- プレミアム付商品券発行事業について

2. 大川 登 議員

〔一括質問方式〕

- 市役所女性職員管理職の登用について
- 光城団地の交差点について

3. 工藤 竹雄 議員

〔一括質問方式〕

- 平成23年度予算について
- 平川市緊急経済対策実績について
- 旧つがる農産物加工センター施設の譲渡について
- 地域コミュニティ育成事業奨励金について

4. 齋藤 政子 議員

〔一括質問方式〕

- TPP（環太平洋経済連携協定）について
- 福祉安心電話について
- 橋の修理について

5. 齋藤 剛 議員

〔一括質問方式〕

- スノーシェルター・西和トンネルについて
- 閉鎖施設の活用について
- 東部地区デイケアセンター現状改善について
- 葛川支所・診療所・屯所のあり方について
- 過疎化による買い物難民と直売所について

6. 齋藤 律子 議員

〔一問一答方式〕

- 住宅リフォーム助成制度創設について
- 農業後継者支援制度創設について
- 学校給食と食育について
- 国民健康保険税について

7. 福士 恵美子 議員

〔一括質問方式〕

- 少人数学級と学校事務の共同実施について
- 病後児保育について
- 買い物難民援助対策と認知症サポーターについて

8. 大澤 敏彦 議員

〔一括質問方式〕

- TPP問題と今後の農業振興について
- 玄米給食導入について

9. 小野 敬子 議員

〔一括質問方式〕

- 大光寺大川邸の活用について
- 耕作放棄地における桑栽培について

10. 成田 敏昭 議員

〔一問一答方式〕

- 市合併検証委員会の検証報告について
- 久吉ダム水道企業団の派遣職員について
- 水道料金について

11. 對馬 實 議員

〔一括質問方式〕

- 市民歌及び平川音頭（仮称）について
- 耕作放棄地について

平川市の地域活性化となる事業の展開を！



古川 敏夫 議員

子ども手当支給に対する平川市の対応について

古川 財源の地方負担への考え方を問う。

市長 子ども手当法案については、法案が通った

場合を想定し作業を進めており、もし法案が否決され児童手当が復活したとしても支障をきたさないよう作業を進めている。財源負担については、定められた地方負担分について予算計上している。

イルミネーション設置事業の実施について

古川 平川市の顔である平賀駅前を活気づけるためにイルミネーションで明るくできないか。

市長 平賀駅前の活性化及び集客については当局

の課題であり、積極的に取り組む必要がある。地域の活性化やまちづくりを考えた場合、それを実現するためには、行政・市民・事業者相互の連携と協力が必要と考える。そのために組織会等を立ち上げて、イルミネーションの設置・運営を考えていただき、その中で行政として出来る事を協力したいと考えている。

プレミアム付商品券発行事業の継続について

古川 これまでの商品券発行事業内容を元に、①商品券での販売額は地元

商店が3割のため、地元商店への効果を上げるための改善策として2種類の商品券をプレミアム付でセット販売する。②商品券印刷代等の事務費に充てる商店の負担割合を大型店2%、地元店1%に改定する。③プレミアム付商品券発行終了後も継続的に販売促進がなされる取り組みとして、夏季や年末年始にも発行するよう努力する。この3点を改善策として提出し、今年も実施したいので、予算化を希望する。

市長 改善策を提出しているので、再度検討して予算化していくように考える。



去年発行されたプレミアム付商品券

女性職員の積極的な管理職登用を！



大川 登 議員

女性職員の管理職比率について

大川 平川市職員の男女割合とその詳細、政府が目標とした女性管理職30%の見込みは。

市長 平成22年4月1日現在、臨時職員を除く職員数は404人であり、このうち男性職員は300人で割合は74・3%、女性職員は104人で割合は25・7%。

また、部課長等相当職を含む管理職等は45人であり、うち男性管理職等は部長級12人、課長級31人の43人で割合は95・6%、女性管理職等は課長級2人で割合は4・4%となっている。

一般行政職における近隣の他市の状況は、女性職員の割合は概ね20%から30%、女性管理職の割合が3%から4%台となっており、当市の女性

職員の割合が26・8%、女性管理職の割合が4・9%であるので、他市とはほぼ同じ状況である。女性管理職の登用にについては、意欲と能力のある女性職員の昇任・昇格に務めるとともに、適材適所の人事配置、女性職員の意識・意欲の啓発・増進及び能力向上のための研修参加の促進に取り組んでいく。

しを良くする対応をしてきた。今後はインターロッキングブロック舗装・カラー舗装・路面標識及び案内標識等は、黒石警察署等関係機関と協議しながら検討を進める。事故防止については、関係機関と連絡しながら啓蒙活動が続けていききたいと考えているので、ご理解を願う。

交通事故の多い交差点をILB舗装にすべき

大川 平川市文化センター駐車場脇の交差点は事故が多い

ため、ILB（インターロッキングブロック）舗装にすべきではないか。

市長 事故の多発を受け、自己多発

注意啓発の立看板、ソーラータイプの止まれる警戒標識、ソーラータイプの誘導標等の設置、植栽を整理し見通



事故が多発する光城の交差点

理想のまち・将来像を実現するための目標達成を！



工藤 竹雄 議員

平成23年度予算における最重要施策は何か

工藤 平川市が誕生して6年目を迎え、長期総合プラン前期基本計画も最終年度となる。活気に満ち溢れた元気な平川市、市民ニーズにこたえるために①平成23年度予算における最重要課題と施策は何か。②平川市緊急経済対策の実績について。③旧つがる農産物加工セ



ンター施設の譲渡を受ける考えについて。④地域コミュニティ育成事業奨励金の使途範囲について。

市長 ①少子化対策、学校教育の充実、農業所得向上対策、観光振興対策、地域の元気再生対策、総合経済対策、健全な財政運営の推進の7つを最重要施策とする。

②中小企業支援対策として、雇用維持奨励金交付事業では8社、596人、2104万円交付。市有財産の減額貸付事業では、5社、51万800円減額。ものづくり中小企業支援では、1社、500万円の補助金交付。特別保証制度貸付金では、23年1月末で件数71件、金額5億6914万1千円を貸付。保証料補給事業は23年1月末で、71件、1476万7千円を補助。利子助成事業では、23年1月末で36件、273万1千円を助成。雇用対策として、雇用調整助成金事業は3社、68万8千円を助成。緊急雇用奨

励金事業では7社、19名常用雇用で866万7千円を支給。学卒者臨時雇用奨励金事業では7社、13名の臨時雇用で、683万2千円。ふるさと雇用再生特別交付金事業では、4社、9名の継続雇用、2523万8千円を交付。緊急雇用創出事業では、13事業で42名の雇用をつなぎ雇用了。

③当該施設は、現在も食品加工の研修施設として活用されており、現段階では県から施設の譲渡について打診があることを想定していない。

④町会活動に係る経費、町会施設の維持管理並びに備品購入、防犯灯経費、研修会費用、町会に賑わいをもたせるための活動費が対象となっている。いずれも行政委員からの強く要望のあった内容に沿って制度設計したものである。

励金事業では7社、19名常用雇用で866万7千円を支給。学卒者臨時雇用奨励金事業では7社、13名の臨時雇用で、683万2千円。ふるさと雇用再生特別交付金事業では、4社、9名の継続雇用、2523万8千円を交付。緊急雇用創出事業では、13事業で42名の雇用をつなぎ雇用了。

TPPへの危機感を持ち、関係機関と検討会議の場を！



齋藤 政子 議員

TPPとは何か

齋藤 ①TPPの現況について。②日本が参加した場合、平川市の影響額について。(イ)米、リンゴ、高冷地野菜について。(ロ)全体の農産物について。

市長 ①政府は、昨年11月に世界中の主要国と高いレベルの経済連携を進める旨の基本方針を閣議決定しているが、6月に予定されているTPPの会議へ参加するかどうか決定していない。②TPPへの参加により関税が撤廃された場合、日本の米90%、リンゴ9%、野菜100%、牛肉75%などが輸入品に替わるとの試算がされているが、市では県と同様に試算要素が少なく不確定部分が多いため、具体的な数値の公表を控えるが、生産者や農業関係者とともに対応策

を考え、体制づくりを早急に作りたいと考えている。



福祉安心電話に対応すべきではないか

齋藤 ひとり暮らしと高齢者世帯数と福祉安心電話を希望する人はどの位いるのか。また、福祉安心電話の現状は。

市長 平成23年2月1日

現在、高齢者世帯数は3046世帯、ひとり世帯は96世帯となっている。福祉安心電話は、緊急時にボタンを押すと県社会福祉協議会に同じ対応を行うものだが、現在120台が設置されている。平成23年度において当初予算で15台計上されており、待機者の解消が図られるものと見込んでいる。

当初からできる水溜りを解消せよ

齋藤 尾崎「したから橋」は、冬期間は水溜りが凍り事故発生の危険性がある。修理などで解消をお願いしたい。

市長 水溜りの原因は、路面排水が排水桝から流れ落ちる際に、川からの冷気の影響でつららとなり、排水桝をふさいでしまうことであると思われる。問題解消となる事実を検討していく。

主要生活道の安全と閉鎖施設の活用を！



齋藤 剛 議員

東部地区の住民が安全安心な生活をするために

齋藤 ①国道102号線板留トンネルと田代トンネルの間にスノーシェルター設置要望。また、西十和田トンネル事業推進について、平川市から積極的な働きかけを。②保育所、小・中学校の閉校後の活用について。③東部地区デイケアサービスセンター現状改善について。④葛川支所及び診療所、屯所のあり方について。⑤過疎化による買い物難民と直売所について。



地域住民の利便性を考えた施設活用が求められる現在の葛川支所付近。

では、青森県と秋田県周辺市町より、毎年度両県へ要望しているが、国でまだ具体的計画に至っていない現状である。長期的展望で根気強く要望活動をしていく。

②③④閉校が予定されている葛川小・中学校の閉校後のあり方については、支所、診療所、東部地区デイケアサービスセンター、屯所を移転し、複合施設として学校を活用することや移転後の跡地を産直センター敷地として活用することについて、職員による利活用検討委員会において、検討させたい。

⑤東部地区では市内部よりもさらに高齢化が進んでおり、地理的条件から交通手段も不便であることから、この問題は一層大きいものと考えている。保育所跡地を産直センターとして活用することも葛川小・中学校の利活用検討委員会の中で検討させたい。

平川市独自の助成事業を創設し、地域活性化を！



齋藤 律子 議員

住宅リフォーム助成制度創設について

齋藤 他県や県内他市でも実施している住宅リフォーム助成制度を経済活性化対策として導入できないか。

市長 事業効果、規模について調査し、事業実施について検討したい。

平川市独自の農業後継者支援制度創設について

齋藤 市の基幹産業である農業の後継者が意欲をもって就農できる環境づくりのため、市独自の農業後継者支援制度を確立できないか。

市長 来年度から、国の交付金事業を活用し、今後就農を希望する地域の離職者・失業者を市内の認定農業者が新規に雇用

し、農作業に従事させながら農業技術を習得できるように指導する「農業担い手育成事業」を実施する予定である。

自治体の食育教育の拠点である、学校給食の重要性について

齋藤 ①学校給食を通して食育指導の具体的計画と実施状況について②実施のための体制は万全か③地元食材の活用について

市長 ①食育指導の計画として、給食試食会、食事のマナー指導、栄養・衛生に関しての計画がされており、また、各学校にはおいて手洗い、身支度、挨拶等の指導が行われている。②給食センターの規模からも栄養士の不足はないと思う。小中学校の調理実習に使用する調理器具は、必要に応じ予算内で対処している。③県の「地産地消でつくる笑顔の給食拡大事業」に参加するなど、地元食材の利用率を上げる



ため、関係機関と連携をとり協議を進めている。教育委員会事務局長 ②県に対し栄養管理・栄養指導を行う栄養教諭配置を強く要望している。

国民健康保険税に関する対応について

齋藤 ①国保税の引き上げについて②滞納額を減らす対策について

市長 ①平成23年度の国保税は、20年度の税率を維持するため歳出削減に努めながら、税率を上げない予算となっている。②滞納対策として、毎月の夜間相談・休日相談を開催し、相談等申し出により分割納付等に対応している。

市民ニーズの住民サービスを！



福士 恵美子 議員

少人数学級に対する市の現況と今後の対応は

福士 ①35人学級の現況と今後について。②学校事務の共同実施について。**教育長** 23年度は小学校1年生について、学級編成を35人以下にすることにしました。これに該当して学級が増える小学校は平川市にはないが、平川市独自の学習支援員制度事業は継承していきたい。②学校事務の共同実施は、校長会でも意見統一ができていない状況であること、他の市町村は共同実施に慎重な対応をしていることから協議を重ねて対処していきたいと考えている。



病後児保育による子育て支援について

福士 保護者が共働きである場合、病後児を預けられる保育所が必要である。

市長 国から補助金を受ける制度があるが、市内には看護師・保育士の配置や医療機関との連携体制など、様々な基準を満たしている施設がない。子どもが病気の時でも安心して預けられる環境が求められていることから実施に向けて保育園側と協議を進めていく。

高齢者生活支援の対策を講ずる必要があるのではないか

福士 ①買い物難民の方が利用する移動販売業者への援助など対策はないのか。②認知症サポーターの役割と平川市の取り組み状況及び課題について。

市長 ①全国的な問題となっている買い物難民についての市の対応は決まっていないが、第5期介護保険事業計画のアンケート調査に買い物難民の項目を追加し、必要とする援助について検討していきたい。②認知症サポーターは認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を見守り支援することである。平成21年度から養成講座を開催し、438人のサポーターが養成されている。市民に対し広報、ホームページ等での案内や教材の給付等でPRしていく。

農業情勢を見据えた関係機関との情報交換の場を！



大澤 敏彦 議員

TPP問題等を考慮した今後の農業政策について

大澤 TPP問題や異常気象等により、農家の経営はますます窮地におい

こまれている。今後の市の農政の方向性を示せ。

市長 市の農政は、国の農業政策に大きく左右される。国内外の経済情勢の変化に伴い、農業政策も変化していく中で「消費者需要」が農業を進めていく基盤となるのではないかと考える。消費者が求める農産物を提供していくことが、平川市の農業が生き残っていくために必要なことである。

経済部長 農協、県、認定農業者等の関係団体の方が農業について話を進めていく情報交換の場が必要である。やる気のある農家のやる気をさらに

伸ばす、若い農業者をつくり、育てることが、平川市の農業が10年、20年後も展開できるような施策が大事だと考えている。

玄米給食導入に関するその後の調査について

大澤 平成22年6月議会で質問した玄米給食導入。炊飯設備や作業工程、食べさせ方など問題点があったが、その後の調査はどのようになっているのか。

教育委員会事務局長 平成22年9月に、発芽玄米

を取り入れている千葉県匝瑳（そうさ）市の給食センターを視察した。現地では週3回の米飯のうち、2回を白米80％に発芽玄米20％の割合で使用していた。発芽玄米はギャバという栄養価に優れ取り入れられたとのこと。当市では、玄米キロ250円に対処可能であるが発芽玄米の工程までできるか未確認である。匝瑳市では発芽玄米をキロ577・5円で購入しており、コストの面からみても導入するのは難しいと思われる。



小学校の米飯給食の様子

建物とともに地域に貢献した人物を後世に伝えるものを！



小野 敬子 議員

大川邸の歴史教育等への活用を

小野 津軽地方の代表的な古民家として県立郷土館にも紹介されている、築約300年の大川邸を資料館として体験学習の場や観光の周遊施設として活用できないか。

市長 市内小中学校や地



大川邸

域住民の郷土学習への活用や観光体験施設への転用などいくつか考えられるが、移転し公開を行うまでには、移転地の選定をはじめ、解体・復元・修復などに要する多額の経費の捻出など多くの課題がある。津軽地方の代表的な中農農家として、その価値は評価されるべきものと思われ、今後の課題として考えていく。

教育委員会事務局長 当市の文化財保護審議会の中で議論し、意見をいただきながら対応していきたい。

たい。

耕作放棄地を活用し桑栽培をしてはどうか

小野 桑の効用が見直されていることに着目し、耕作放棄地解消策として桑の栽培を行ってはどうか。八戸市では作業員として高齢者を雇用し桑栽培に取り組んでいる団体もある。

市長 市では昨年度から国の耕作放棄地再生利用交付金や市単独の補助金を活用して耕作放棄地の解消に努めている。桑であれ他の作目であれ、栽培すること自体は栽培技術を取得すれば結果がでてくるが、営農定着で一番の問題が販売面であり、これを解決しないと営農を継続できなくなる。事業実施の際は、国及び市の耕作放棄地解消事業を活用しながら成功させていきたい。

自然災害に対する対策と市民周知を早急に！



成田 敏昭 議員

合併検証結果の内容等について

成田 市長の公約である合併検証の主な内容と予算化、市民への周知について問う。

市長 合併検証委員会委員10人により5回にわたって審議され、12月21日「合併検証報告書」をいただいた。主な内容は「学習支援員の継続と不登校児童生徒への対策と強化」「地域活性化のための町会への補助事業継続」「自然災害に対する対策の強化」「自然観光資源の整備」「職員の資質向上」など17項目となっている。平成23年度予算案には、「学習支援員の継続」「地域コミュニティ育成事業の継続」「観光ガイドの育成」が入っており、「市のキャッチフレーズの制定」「広報紙の内容・構成等の見直し」等、予算が伴わないものは早急に検討したい。また、市民への周知は全庁的に内容を検討する場を設け、調整を加えた結果を公表したいと考えている。

久吉ダム水道企業団へ平川市から責任ある立場の職を置くべき

成田 平川市から企業団へ職員派遣がされなくなった経緯を問う。

市長 職員派遣については、平成21年1月ころ、当時の大鰐町長から前市長に、企業団経営改善のために平川市からの派遣を中断したい旨の話があり、検討のうえやむを得ないと判断されたものである。しかし、経営状態の判断からの中断であり、永久に職員を派遣しないということではなく、財務状況が改善されれば、再び派遣することもある。

成田 企業団には退職した方が何年も臨時雇用されている。企業団の前身

を把握し報告できる職員が派遣されることで、まだ改善される部分が出てくるのではないかと。

市長 副企業長として内部を精査し、現状を調べたい。

地区の現状に合わせた料金表の作成を

成田 碓ヶ関地域に發送されている「下水道使用料講座振替のおしらせ」の料金表は平賀・尾土地域に適用されているものではないか。

市長 電算システムの更新に伴い、2月から新しい様式のお知らせを発送したが、碓ヶ関地域の皆様には紛らわしい表記となっていました。3月分からは別様式に変更する作業を進めている。



平川市民の歌を！



対馬 實 議員

イベントなどを盛り上げる身近な歌づくりを

対馬 合併前にはそれぞれの地域にあった町民歌や音頭。「平川市民歌」や「平川音頭」を作り市民の一体感のさらなる醸成を図るべきではないか。

市長 「市民歌」や「平川音頭」などを作ることには意味のある提案と受け止めている。イベントなどを盛り上げながら市民の一体感の醸成にも寄与することが期待されると考える。市役所内に検討チーム等を設置して調査させながら作る方向で検討していきたい。

対馬 名誉市民である櫻田誠一氏への作曲依頼、市民からの作詞公募、歌は当市出身の歌手などに依頼。歌に振り付けをつけると広く普及し、市民

にも一体感が生まれるのではないか。

市長 地元を知って、地元の心情や文化等がわかっている方に作ってもらうのが一番いいと考えている。十分に考慮しな



旧3町村において親しまれていた唄や音頭

がら対応していきたい。

耕作放棄地の現状と今後の見通しについて

対馬 当市の基幹産業である農業を取り巻く状況は厳しく、耕作放棄地が増えてくる。今後どのような対策及び解消法を考えているのか。

市長 耕作放棄地について

では、平成20年12月、平川市耕作放棄地対策協議会を設置し、市・農業委員会が主体となり関係機関と連携しながら解消に務めている。平川市の耕作放棄地の総面積は平成23年2月末時点で234ヘクタールとなっており、そのうち解消された農地15ヘクタール、非農地化した農地81ヘクタールで、現在は138ヘクタールが耕作放棄地の面積となっている。

今後の見通しについては、国及び市の耕作放棄地解消事業を活用しながら、担い手農家への積極的な農地集積・流動化を図り、集落営農組織や生産組織への作業受託を推進していきたいので、ご理解を願う。



請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ④ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。
- ⑤

【記入例】

平成 年 月 日	
平川市議会議長（氏名） 殿	
請願（陳情）者	住 所
	氏 氏
紹介議員	氏 氏
〇〇〇に関する請願（陳情）書	
【請願(陳情)の要旨】	
【理 由】	

教育民生常任委員会

所管事務調査報告



葛川小・中学校長の説明の様子

●説明者
各学校長
教育委員会事務局長
芳賀秀寿、
学校教育課長 山田幸喜、
学校教育係長 齋藤茂樹

●欠席委員
葛西 清仁
(計1名)

●調査目的
学校経営方針及び施設等の現状の調査

●出席委員
佐々木利正、齋藤 正明、
小田桐信勝、福士恵美子、
佐藤 雄、齋藤 律子、
大川 登
(計7名)

●調査場所
管内小中学校現地調査
(計15校)

●調査期日
平成23年4月25日(月)
から4月26日(火)

●委員長所感
・所管事務調査を終えて
1 学校経営方針につ

いて
各学校において、それぞれの地域の文化、歴史等に見合った学校経営をされていると十分感じました。
また、これまでの伝統を踏まえながらも、それぞれの校長先生の考えがあらわされ、時代に見合うよう工夫されていたと感じました。
2 施設整備の状況について
建築後十年が経過している校舎はもとより、比較的新しい校舎にも、それぞれ手をかけるところがたくさん見受けられました。児童生徒の安全を第一に考え、その危険性への対応の優先順位を明確にすることが大切と思われると思います。
今回、教員委員会の事務方も調査したすべての学校に随行され、その状況を十分把握できたことと思いますので、今後の速やかな対応について、注視していきたいと思っています。
すべての学校の児童生



柏木小学校長より松の枝処理についての現地説明



金田小学校での駐車場整備についての現地確認

徒は、しっかりと挨拶ができ、気持ちよく校舎内を調査することができました。
今回お忙しいところ、資料を揃えていただき、また丁寧に対応してくださいました校長先生を始め、学校関係者の方々に感謝申し上げます。

4月25日(月) 調査校

学 校 名	建築年度	のべ床面積㎡	構 造	児 童、生徒数
葛川小・中学校	平成10 (築13年)	3,706	鉄筋コンクリート 3階建て	14
金田小学校	昭和52 (築33年)	6,027	鉄筋コンクリート 3階建て	306
尾上中学校	平成17 (築6年)	5,642	鉄筋コンクリート 3階建て	284
猿賀小学校	昭和48 (築38年)	4,283	鉄筋コンクリート 2階建て	230
小和森小学校	昭和62 (築24年)	4,781	鉄筋コンクリート 3階建て	290
平賀西中学校	平成15 (築8年)	7,143	鉄筋コンクリート 3階建て	387
松崎小学校	昭和58 (築28年)	3,056	鉄筋コンクリート 3階建て	127
大坊小学校	昭和55 (築31年)	2,548	鉄筋コンクリート 2階建て	111

4月26日(火) 調査校

学 校 名	建築年度	のべ床面積㎡	構 造	児 童、生徒数
竹館小学校	昭和60 (築26年)	4,045	鉄筋コンクリート 3階建て	139
柏木小学校	平成7 (築16年)	3,486	鉄筋コンクリート 2階建て	172
碓ヶ関小学校	昭和53 (築33年)	5,080	鉄筋コンクリート 3階建て	86
碓ヶ関中学校	平成2 (築21年)	4,234	鉄筋コンクリート 3階建て	54
広船小学校	昭和57 (築29年)	2,443	鉄筋コンクリート 3階建て	53
平賀東中学校	平成2 (築21年)	6,828	鉄筋コンクリート 3階建て	223
平賀東小学校	昭和51 (築35年)	5,129	鉄筋コンクリート 2階建て	185

＊ 議会の動き ＊

平成23年

- 3月1日

平成22年度青森県立尾上総合高等学校卒業証書授与式に議長出席
- 〃

平成22年度青森県立柏木農業高等学校卒業証書授与式に議長出席
- 3日

議会運営委員会
- 4日

議会広報特別委員会
- 5日

平成22年度平川市連合婦人会総会に議長ほか出席
- 6日

平川市民芸能発表会に議長ほか出席
- 20日

平川市猟友会第5回定時総会に議長出席
- 27日

緑青園1・2・3月期誕生会及びボランティア感謝と交流の集いに議長ほか出席
- 29日

平成22年度青森県市議会議長会監査に議長出席
- 4月7日

平成23年度県立尾上総合高等学校入学式に議長出席
- 14日

平成22年度国道7号整備促進期成同盟会監査会
- 16日

平成22年度ねぶた運行実行委員会定時総会に議長出席
- 20日

平川市納税貯蓄組合連合総会に議長出席
- 22日

平成22年度平川市老人クラブ連合会総会に議長出席
- 23日

平川市読書推進運動協議会第6回総会に議長出席
- 〃

志賀坊山野草まつり2011開会式に副議長出席
- 〃

平川市交通安全協会定時総会に議長出席
- 24日

平川市交通安全母の会第5回総会に副議長出席
- 25～26日

教育民生常任委員会所管事務調査
- 26日

平成23年度青少年育成平川市民会議総会に議長ほか出席
- 28日

平川市文化協会第6回総会に副議長出席
- 29日

第30回おのえ花と植木まつり開会式に議長ほか出席
- 〃

平川市遺族会総会に議長出席
- 5月3日

猿賀神社崇敬会大祭並びに総会に議長出席
- 5日

第6回平川市子どもフェスティバル開会式に議長出席
- 〃

第5回平川市子ども会育成協議会定時総会に議長出席
- 7日

平川市連合PTA平成23年度定期総会に議長出席
- 10日

平成23年度議員年金制度研修会（仙台市）
- 16日

碓ヶ関地域活性化推進協議会総会に副議長出席
- 17日

平成23年度平川市シルバー人材センター通常総会に副議長出席
- 18日

平成22年度黒石地区交通安全協会通常総会に副議長出席（黒石市）
- 20日

議会広報特別委員会
- 〃

平成22年度平川市観光協会総会に議長出席
- 23日

黒石市議会正副議長就任あいさつ訪問に正副議長対応
- 〃

平成23年度平川市商工会通常総会に副議長出席
- 〃

青森県市議会議長会事務局長会議に事務局長出席（青森市）
- 25～26日

第63回東北市議会議長会定期総会に議長、局長出席（仙台市）
- 27日

議会運営委員会
- 〃

平成23年度南黒食品衛生協会定時総会並びに懇親会に副議長出席（大鰐町）
- 28日

「旧家・庭園・蔵めぐり」開会式に議長出席
- 〃

「白岩まつり2011」開会式に副議長出席
- 〃

弘前城築城400年祭記念式典に議長出席（弘前市）
- 〃

第3回（平成22年度）特定非営利活動法人平川市体育協会通常総会に教育民生常任委員長出席
- 30日

JA津軽みらい平川カントリーエレベーター起工式に議長出席
- 31日

平成23年度平川市建設協会通常総会に副議長出席
- 31～6/1日

平成23年度青森県市議会議長会第1回定期総会に議長、局長出席（むつ市）

平成22年平川市議会傍聴者実績

（単位：人）

	期 間	傍聴者数		
		平川市内	平川市外	計
第1回定例会	3月8日～3月19日	50	2	52
第2回定例会	6月8日～6月18日	40	4	44
第3回定例会	9月6日～9月17日	31	0	31
第4回定例会	12月8日～12月17日	29	10	39
合 計		150	16	166

（傍聴者数はのべ人数です。）

お知らせ ～平川市議会会派の動き～

平成23年3月7日に、齋藤正明議員が親政会から脱退しました。

会派別人数（平成23年3月8日現在）

会 派 名	人 数
親 政 会	11名
正 進 会	5名
会派所属なし	8名（うち政党所属2名）

編集室から

このたびの東日本大震災で被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。編集後記のテーマは、やはり東日本大震災のことになってしまふ。報道によると、東日本大震災の被害総額は最大で十九兆円との推計が示された。現時点で阪神大震災の二倍とのことであり、大震災は、工場や設備の損壊、交通網の分断や部品供給の停滞といった障害を生んだ。

当市議会の6月定例会の報告を見て、事故繰越しを始め、繰越の文字が目につきます。資材不足や委託先の被災により、年度内に完成できなくなったようであり、直接・間接的に我が平川市にも影響があります。

一日も早い復興を祈るものであります。

（小野長道）



「ひらかわ市議会だより」は、環境に配慮した再生紙とインクを使って印刷しています。